

身体的拘束の廃止に向けた当院の取り組みについて

当院では、患者さんの尊厳を大切にし、安心して療養していただけるよう、「身体的拘束をできる限り行わないケア」を基本方針としております。

医師・看護師・薬剤師・リハビリスタッフなど多職種が連携し、患者さんお一人おひとりに合わせた支援を行っています。

◇当院で行っている主な取り組み

- ・低床ベッドや衝撃緩和マットの使用
- ・離床センサー等を活用した安全対策
- ・痛みや不安、生活リズムなど不穏の原因確認
- ・声かけや見守りの強化
- ・多職種によるケア方法の検討

◇ご理解いただきたいこと

当院では、転倒・転落や医療機器の自己抜去などを防ぐため、できる限りの対策を行っております。しかしながら、身体的拘束を行わずにケアを進める中で、予期せぬ出来事が生じる可能性もあります。

患者さんの安全と尊厳の両立を目指し、職員一同努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

◇緊急時の対応について

患者さんや周囲の方の安全確保のため、やむを得ない場合に限り、一時的に身体的拘束を行うことがあります。

その際は、

- ・必要性を慎重に判断すること
- ・ご家族へ速やかにご説明すること
- ・できる限り早期解除に努めることを徹底しております。

